

播磨町地域自立支援協議会について

令和3年度第2回推進会議
2022年3月23日(水)13:30~15:00

播磨町地域自立支援協議会とは

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（障害者総合支援法）第89条の3の規定に基づき設置

－障害者総合支援法から抜粋－

（協議会の設置）

第八十九条の三 地方公共団体は、単独で又は共同して、障害者等への支援の体制の整備を図るため、関係機関、関係団体並びに障害者等及びその家族並びに障害者等の福祉、医療、教育又は雇用に関連する職務に従事する者その他の関係者（次項において「関係機関等」という。）により構成される協議会を置くように努めなければならない。

2 前項の協議会は、関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものとする。

－協議会の目的－

この協議会は、障害のある人の暮らしに関する個別課題・地域課題に取り組むことを基本にしています。

この協議会は、本人を含む当事者、地域住民団体、事業者、雇用、教育、保健医療、福祉等の関係者からなる組織の中で、相談支援が個々に行き届くように、人と人をネットワークする役割を果たしていくものです。

この協議会は、障害者計画、障害福祉計画・障害児福祉計画が実情に合うように協議検討し、組織構成員全てが、課題解決に向けて、それぞれの立場で何が可能か役割分担を明確にしていきます。

全体会 誰でも参加可能

課題解決に向けて実現していくための共通理解を行う（研修会）
障害者計画・障害福祉計画に関わる意見聴取（ワークショップ）

推進会議 町長が委嘱した者

協議会の取り組みの方針検討
障害福祉施策への提言

運営会議 会長・行政・事務局

運営・全体会等の企画について協議

まもる部会

誰もが身近な地域で安心して暮らすことができるよう、相談体制を充実し、地域住民と一緒に権利擁護のまちづくりを進めます。

そだつ部会

地域も共に育ち、学び、社会参加できる仕組みをつくります。

くらす部会

その人らしく自立した暮らしができ、地域の中で支え合う仕組みをつくります。

はたらく部会

多様な「はたらきたい」を生活と就労の両面にわたり支える仕組みをつくります。

個別支援会議で明らかになった地域の課題を整理し、自立支援協議会で解決に向けて協議していきます。

個別支援会議

「わたし」の支援について、関係者が集まり課題解決に向け協議する場です。

医療・・・医者・看護師・保健師など
地域・・・民生委員・社会福祉協議会など
学校・・・先生・カウンセラーなど
福祉・・・事業所・相談員など

令和3年度の活動報告

まもる部会

まもる部会

- 障害のある人のための『防災手帳』の作成
- 防災イベントの開催
- 成年後見制度に関する情報提供会

障害のある人のための『防災手帳』の作成

防災士・当事者・支援者・専門家の
意見をふまえ、部会で協議・検討し作成

障害のある人のための

2021年6月版

ぼうさいてちょう
防災手帳

持ち運べるA5サイズの16ページの冊子

災害が来る前に準備できること

当事者にとって
実際に必要な具体的な行動がわかるもの



毎日の生活の中で、防災意識を高めておきましょう。

この冊子は、今すぐできる災害等への備えをまとめています。
普段のカバンや非常持ち出し袋に入れて活用しましょう。

播磨町のハザードマップや総合防災マップ等と合わせて活用しましょう。

研修や勉強会にも使っていけるもの



播磨町地域自立支援協議会

この冊子は播磨町地域自立支援協議会のホームページからダウンロードできます。

防災イベントの開催

『防災士とおこなう親子防災体験』
兵庫県防災士会東播エリアと共催
会場 県立東はりま特別支援学校体育館

小学6年生までの親子対象の
体験型防災イベント

動画視聴、防災クイズ、防災品展示
毛布担架、簡易トイレ、非常持ち出し品選択と重さ体験

2021年11月23日開催

主催 播磨町地域自立支援協議会まもる部会/兵庫県防災士会東播エリア

防災士とおこなう 親子防災体験

時:令和3年11月23日(火・祝) 午後1時半~3時
場:県立東はりま特別支援学校 体育館
定員:親子10組(定員になり次第締め切り)
参加費:無料
申し込み:QRコードからできます



参加対象
播磨町在住の障害のある子ども
(中学生まで)とその家族
(きょうだいも参加できます)

身を守るクイズ
地震や火災、水害から身を守る方法について、クイズに親子でチャレンジ

防災体験
・試してみよう緊急用トイレ
・担架の作り方、運び方
・避難所の衝立、段ボールベッド体験

もしもの「備え」
災害時には停電や断水することが考えられます。もしものに備え、平常時から何を準備しますか？

播磨町地域自立支援協議会で障害のある人のための「防災手帳」をつくりました。参加者に当日配布します。

この親子防災体験は、兵庫県防災士会東播エリアの防災士さん、地域のボランティアさんの協力を得て行います。
問い合わせ先:播磨町地域自立支援協議会 079-437-3456 harima@jiritu-h.com

防災イベントの開催(2)

防災動画



防災クイズ



防災展示



防災イベントの開催(3)

簡易トイレ製作



毛布担架



非常持ち出し品の重さ



成年後見制度に関する情報提供会

『成年後見制度の相談あれこれ
～障害のある人の家族が知っておきたい
「親なきあと」「親あるあいだ」の準備～』

情報提供者：森保 純子氏
社会福祉士

2021年8月5日開催

播磨町地域自立支援協議会主催 情報提供会

成年後見制度の相談あれこれ
障害のある人の家族が知っておきたい
「親なきあと」
～「親あるあいだ」の準備～

親が亡くなったり、高齢やその他の理由で支援が難しくなったときに、
障害のある人の生活について心配はありませんか？

- ・世話をしてくれる相手に本人の言いたいことが伝わるのか？
- ・身のまわりのことについて、今と同じように支援を受けられるのか？
- ・親がいなくなったら、一人で今の家に住み続けられるのか？
- ・自分一人の収入だけで生活していけるのか？
- ・火事や災害時に対処できるのか、犯罪に巻き込まれたりしないか？

福祉サービスや制度を活用することで、
「親あるあいだ」に備えることができます。

講師：森のすず社会福祉士事務所 代表 社会福祉士 森保純子氏
(播磨町成年後見相談員、兵庫県社会福祉士会 ばあとなあ兵庫所属
成年後見活動や防災福祉活動など障害者高齢者従事)

とき：令和3年8月5日(木)午後1時半～3時
ところ：播磨町福祉会館 3階会議室

参加対象：知的障害や自閉症などの障害のある人の家族、支援者
参加費：無料 参加定員 30人(定員になり次第締め切り)
参加申し込み：電話またはFAX、右のQRコードからできます
問い合わせ先：播磨町地域自立支援協議会 079-437-3456



そだつ部会

そだつ部会

- 『かけはしcafe』開催(自己紹介ファイル『かけはし』の書き方)
- 『就学・就園に向けた情報提供会』
- 情報提供会 『障がいのある子どもの進路』
- 就学サポート会議(教育委員会主催)への参加

『かけはしcafe』開催(自己紹介ファイル『かけはし』の書き方)

第1回:2021年9月16日開催

第2回:2022年3月10日開催

第3回:2022年3月17日開催

自己紹介ファイル
「かけはし」カフェ

学校や職場で
使えます

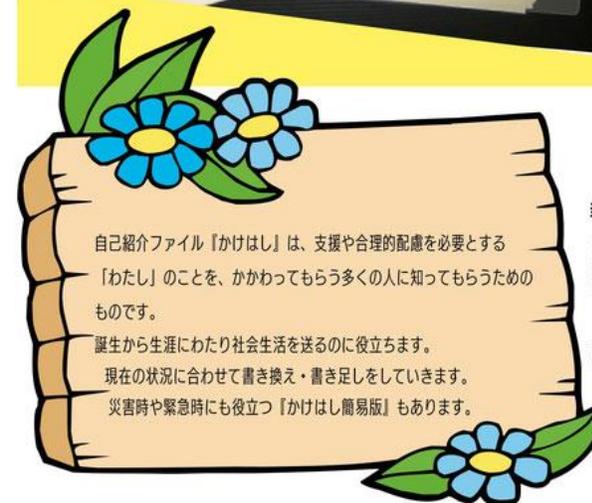
わが子のいいところ
伝える書き方
お手伝いします。

日時:令和3年9月16日(木)10:00~12:00

場所:地域連携交流施設



定員:15人
(定員になり次第締め切り)



当日お持ちいただくもの

おさんの写真
母子手帳
おさんのことがわかるもの

参加申し込み:QRコードから



就学・就園に向けた情報提供会

情報提供者
教育委員会(学校教育グループ)
県立東はりま特別支援学校

2021年8月24日開催

播磨町地域自立支援協議会主催

日時: 令和3年
8月24日(火)
午後1時半~午後3時
場所: 播磨町福祉会館

就園・就学等に向けた 情報提供会

うちの子に合うのは、
通常級? 通級? 支援級?
特別支援学校?

参加
無料

○播磨町教育委員会から
幼稚園・小学校・中学校の支援体制(特別支援学級、
通級指導教室等)について

○東はりま特別支援学校から
小学部、中学部の内容について

参加対象: 3歳児~中学3年生の保護者
定員: 20人(定員になり次第締め切り)
申し込み: 下のQRコードから



問い合わせ先
播磨町地域自立支援協議会
079-437-3456
Email: harima@jiritu-h.com



情報提供会 『障がいのある子どもの進路』

テーマ：就学と学校卒業後の進学先や
就労、福祉サービスの利用について

講師：兵庫大学・兵庫短期大学
障がい学生支援オフィス 劔物和弘氏

2022年1月31日開催

2021年度
第2回

播磨町地域自立支援協議会主催
そだつ部会情報提供会

『障がいのある子どもの進路』

日時 2022年
1月31日(月) 10:00～12:00

場所 播磨町役場 3階BC会議室

テーマ 就学と学校卒業後の進学先や就労、
福祉サービスの利用について

講師：兵庫大学・兵庫短期大学障がい学生支援オフィス 劔物和弘氏

定員 40人（定員になり次第締め切り）



参加費無料

申込みは右のQRコードからお願いします



就学サポート会議(教育委員会主催)への参加

教育分野との連携強化

第1回:2021年9月9日

(オンライン開催、医療的ケアについての研修)

第2回:2022年3月(書面開催)

くらす部会

くらす部会

- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築にむけて
- 日中支援型グループホームの評価
- 播磨町消費生活協力員・消費生活協力団体養成講座受講

精神障害にも対応した 地域包括ケアシステム構築にむけて

くらす部会にてワーキンググループ立ち上げ

2021年7月5日

明石市自立支援協議会『ハートフルあかし』の取組から学ぶ

2021年10月27日

くらす部会にて課題抽出・取組検討

精神障害にも対応した 地域包括ケアシステム構築にむけて(2)

研修会『基礎講座 精神疾患に関する理解
～地域で支える心構え～』

講師：東加古川病院
森 隆志院長

2022年3月1日開催

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて

基礎講座 精神疾患の基礎理解
～地域で支える心構え～

日時 2022年3月1日(火) 14:00～15:30

場所 播磨町役場3階BC会議室

講師 森 隆志氏(東加古川病院院長)

内容 精神疾患の基礎理解とかわり

定員 40人(定員になり次第締め切り)

対象 医療従事者
相談支援専門員、介護支援専門員
障害福祉サービス等従業者など

参加無料

申込みは右下のQRコードから

主催：播磨町地域自立支援協議会くらす部会

問い合わせ先：播磨町地域自立支援協議会
TEL:079-437-3456 Email:harima@jiritu-h.com



日中支援型グループホームの評価

事業所より自立支援協議会への報告を受け評価

対象事業所：ソーシャルインクルーホーム播磨町

報告会及びグループホーム見学会

2021年11月12日実施



日中支援型グループホームの評価(2)

外観



出入口前のスロープ



エレベーター
(男女は別の階)



日中支援型グループホームの評価(3)

共用スペース



キッチン



浴室



播磨町消費生活協力員・ 消費生活協力団体養成講座

2022年2月21日受講

来年度より当事者の消費被害に関する事例や声を自立支援協議会で調査・抽出

はたららく部会

はたらく部会

障害年金に関する情報提供会

部会内にて課題抽出・企画検討

支援者向け研修会『障がいのある人の就労支援について』

障害年金に関する情報提供会

情報提供者：宮田 純子氏
社会保険労務士

2021年9月10日開催

広がれ！ こころのバリアフリー

播磨町地域自立支援協議会はたらく部会主催研修会

障害年金に関する情報提供会

障害年金請求までの一連の流れ、整備する書類、留意すべきポイント等を社会保険労務士さんから、わかりやすく解説していただけます。

情報提供者：社会保険労務士 宮田 純子氏



日時 令和3年 9月10日(金) **定員** 参加費無料
13:30~15:00 (情報提供会) 30人
(定員になり次第締切)

場所 播磨町福祉会館 3階会議室

右のQRコードから参加申し込みできます

申込 播磨町地域自立支援協議会 電話/FAX 079-437-3456
MAIL: harima@jiritu-h.com 電話、FAX、MAIL から申し込みできます。



部会内にて課題抽出・企画検討

部会にて就労や事業所に関する課題を抽出し、企画検討

問題意識の共有と、情報提供会の開催へ

【延期】支援者向け研修会 『障がいのある人の就労支援について』

問題提起

ハローワーク加古川 専門援助部門

加古川はぐるま福祉会

進行 東播磨圏域障害者等

コーディネーター 濱口直哉氏

2022年1月21日開催予定も、

情報提供者周辺で

新型コロナウイルス陽性者が出たため延期

主催：播磨町地域自立支援協議会はたらく部会

障がいのある人の 就労支援について



日時 2022年 1/21日（金）
午後1時半～3時
場所 播磨町役場3階BC会議室
対象 障害者就労支援に係る関係者
定員 30人（定員になり次第締め切り）
参加費無料

障がいのある人の就労支援にあたって、知りたい情報・手続き・制度や、困っていることはありませんか？事前に筆問を受け付けます。

専門的にかかわっておられるお二人から問題提起をいただき、就労支援にあたって課題解決の糸口を一緒に考えていきたいと思っております。

問題提起 ○就労支援をして感じていること
社会福祉法人加古川はぐるま福祉会 岡崎美穂氏
○窓口業務を通じて感じていること
ハローワーク加古川 中山清策氏
進行 東播磨圏域障害者等相談支援コーディネーター 濱口直哉氏

右下のQRコードから参加申し込みください

連絡先・申し込み先：播磨町地域自立支援協議会
Mail：harima@jiritu-h.com TEL：079-437-3456



全体会

全体研修会

第1回 2021年6月27日・28日 『障害平等研修(DET)』

第2回 2021年9月3日

『障害のある人の避難行動

～いざというときに備えて今できること～』

第1回全体研修会

『障害平等研修(DET)』

講師：桜美林大学 谷内 孝行准教授

2021年6月27日・28日開催

対象者

27日(日)学生対象

28日(月)学童指導員・障害福祉サービス事業所職員対象

広がれ！こころのバリアフリー
2021年度 播磨町地域自立支援協議会 全体研修会

DET (Disability Equality Training)
障害平等研修

障害者の社会参加や多様性に基づいた共生社会を創ることを目的として、障害者自身がファシリテーターとなって進めるワークショップ型の研修です。

対話を通じた「発見」を積み重ねていくなかで、差別や排除など、社会のなかにある様々な「障害」を見抜く力を獲得し、それらを解決していくための行動を形成します。

ファシリテーター 桜美林大学 准教授 谷内孝行氏

対象：中高生・大学生等 対象：学童・障害児通所施設の職員等

6/27 (日) 13:30~15:30	6/28 (月) 9:30~11:30
-------------------------	------------------------

会場：南部コミュニティーセンター
定員：45人（定員になり次第締め切り）
参加費：無料

QRコードから申し込んでください。

主催：播磨町地域自立支援協議会
兵庫県加古郡播磨町北古田1-17-17 地域連携交流施設
電話番号 079-437-3456

第2全体研修会

『障害のある人の避難行動
～いざというときに備えて今できること～』

講師：倉敷地域基幹相談支援センター
永田 拓氏

進行：東播磨圏域障害者等コーディネーター
濱口 直哉氏

現地会場とオンラインのハイブリッド形式で開催

2021年9月3日開催



播磨町地域自立支援協議会全体研修会

時：令和3年9月3日(金)
午後1時半～3時
場：南部コミュニティセンター
定員：50人
(定員になり次第締め切り)

参加費：無料

申し込み：
079-437-3456

どなたでも
参加できます



障害のある人の避難行動
～いざというときに備えて
今できること～

平成30年7月におきた西日本豪雨で、岡山県倉敷市真備町では、犠牲者の8割が高齢者と障害者でした。
倉敷地域基幹相談支援センター永田 拓氏を講師にお招きし、東播磨圏域コーディネーター濱口 直哉氏を進行役に、実際に体験されたお話をさせていただきます。

緊急のお知らせ

緊急事態宣言発令につき、この研修会は現地会場と講師の永田氏をオンラインでつなぐ形での開催に変更となりました。

また、現地に加え、オンラインでの参加も受け付けることになりました。

オンライン参加希望の方は
harima@jirtu-h.com
までご連絡ください。



進行役
東播磨圏域コーディネーター 濱口 直哉 氏



講師 倉敷地域基幹相談支援センター 永田 拓 氏
(岡山県相談支援専門員資格 有)

問い合わせ先：播磨町地域自立支援協議会 079-437-3456

情報発信・啓発

情報発信・啓発

- ・【啓発】広がれ！こころのバリアフリー
 - ・こころのバリアフリー作品展
 - ・広報はりま 原稿寄稿(あかりの家 坊垣施設長)
 - ・ホームページ・オンライン情報の充実
- 1、つながるナビ
 - 2、ダウン症に関する啓発
 - 3、2市2町事業所マップ(4Cities Map)の作成・運用開始

【啓発】広がれ！こころのバリアフリー

広報「はりま」に啓発記事を掲載

学校の各教室やコミセン等の施設に啓発ポスター掲示
QRコードから詳しい解説ページにアクセス可能

これまで
ヘルプマーク・ヘルプカード
耳マーク
世界自閉症啓発デー
障害者週間・国際障害者デー・障害者の日
盲人のための国際シンボルマーク
障害者のための国際シンボルマーク
についての啓発ポスターを作成

広がりこころのバリアフリー
知ってね！ヘルプマーク・ヘルプカード

ヘルプマーク・ヘルプカードは、持っている人が困ったときに、お手伝いをお願いしやすくするためのしるしです。

あなたの支援が必要です
ヘルプカード

播磨町・播磨町地域自立支援協議会

詳しくは右のQRコードから

知ってね！障害者のための国際シンボルマーク

このマークは、障害者が利用できる施設、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。

このマークは、「すべての障害者を対象」としたものです。特に、車椅子を利用する障害者を想定し、使用されるものではありません。

このマークを見かけたときは、障害者の利用への配慮について、ご理解、ご協力をお願いします。

広がりこころのバリアフリー
播磨町・播磨町地域自立支援協議会

知ってね！盲人のための国際シンボルマーク

視覚障害者の安全のバリアフリーを推進した歩道・歩道・歩道などに付けられている国際共通のマークで、視覚障害者が自らも目ももつて歩くサインをしています。

視覚障害者が通るようにつかえたと時は、「指かか手袋いませしょうか」など、まっすぐかかませしょう。

盲点ブロックは、視覚障害者が歩道の幅で感度で感度できるよう、歩道幅を狭くにつけたもので、安全に歩行するために設置や設置されているブロック（プレート）です。

盲点ブロックの上で立ち止まらぬ、歩道幅が狭い「盲」方をお願いします。

広がりこころのバリアフリー
播磨町・播磨町地域自立支援協議会

知ってね！耳マーク

聞こえが不自由なことを表すしるしです。

くちやとみ
口元を見せたりはつきり話したり、ひつぱん
筆談でのやり取りをお願いします。

広がりこころのバリアフリー
播磨町・播磨町地域自立支援協議会

毎年4月2日は国連が決めた「世界自閉症啓発デー」です

World Autism Awareness Day

世界自閉症啓発デー（World Autism Awareness Day）の4月2日から8日までの1週間を「発達障害啓発週間」として、自覚症をはじめとする発達障害について広く啓発する活動を行います。

世界自閉症啓発デー - 発達障害啓発週間をきっかけに、自覚症をはじめとする発達障害についての知識・理解を深めていきます。（政府広報オンラインから）

広がりこころのバリアフリー
播磨町・播磨町地域自立支援協議会

連絡先：079-437-3456

世界自閉症啓発デー

毎年4月2日は、国連が決めた「世界自閉症啓発デー」です。

毎年4月2日～4月8日は、「発達障害啓発週間」です。

自閉症をはじめとする発達障害への理解促進のための、さまざまな啓発活動が行われます。

発達障害って、なんだろう？
（政府広報オンライン）

●播磨町では、発達障害啓発 こころのバリアフリー作品展を行います。

展覧会開催日時 4月2日～4月8日（10時～17時 日・休館日）
展覧会開催場所 4月11日～4月12日（10時～17時 日・休館日）

広がりこころのバリアフリー
播磨町・播磨町地域自立支援協議会

連絡先：079-437-3456 harima@ritu-h.com

知ってね！障害者週間・国際障害者デー・障害者の日

毎年12月3日～9日は「障害者週間」です

「国際障害者デー」は12月9日
わが国の「障害者の日」は12月9日です。

障害者週間には、障害者がある分野の活動に参加することを促進するために「障害者基本法」により設けられています。

播磨町障害者作品展を播磨町立図書館で行います。
12月3日～24日 9時～19時（最終日は12時まで）
（第2・4水曜日は休館）

広がりこころのバリアフリー
播磨町・播磨町地域自立支援協議会

こころのバリアフリー作品展

障害者週間にあわせ
2021年12月3日～12月24日に
播磨町立図書館2階にて開催

ゆうあい園
地域活動支援センターライズアップ+
県立東はりま特別支援学校から出展

次回 発達障害者月間にあわせ
2022年4月に福社会館
及び地域連携交流施設で開催予定

広がれ！こころのバリアフリー
作品展
12月3日(金)～12月24日(金)
播磨町立図書館 2階 9:30～19:00
(毎月第2・第4水曜日は休館) 展示作品は前半3日～12日と
後半13日～で入れ替わります
最終日24日の展示は12時までです



毎年12月3日～9日は「障害者週間」です
播磨町地域自立支援協議会 〒675-0148 兵庫県加古郡播磨町北店1-17-17地域連携交流施設
079-437-3456

自閉症・発達障害啓発 こころのバリアフリー
作品展
2022年
前期 4月 2日(土)～8日(金) 10時～17時(日・月休館)
場所：播磨町福社会館 入場無料
後期 4月11日(月)～22日(金) 10時～17時(土・日休館)
場所：地域連携交流施設



毎年4月2日は、「世界自閉症啓発デー」です。
毎年4月2日～4月8日は、「発達障害啓発週間」です。
播磨町・播磨町地域自立支援協議会 連絡先：079-437-3456 harima@jintu-h.com

県立東はりま特別支援学校



ゆうあい園、
地域活動支援センターライズアップ+



広報「はりま」 原稿寄稿

みんなで作る共生社会
毎年12月3日～9日は「障害者週間」です

▼問合せ 播磨町地域自立支援協議会事務局 ☎079 (437) 3456

播磨町地域自立支援協議会では、障害の有無に関わらず、安心して自分らしく暮らせるまちづくりを目指しています。安心して暮らすとはどういうことなのか、これまでの歴史や今なお残る課題について、同協議会の推進委員でもあります障害者支援施設あかりの家の坊垣勝彦施設長に寄稿していただきました。

『障がい者の暮らしの場を考える ～親亡き後を見据えて』

「自宅であれ施設であれ障がい者が社会で幸せに暮らせる態勢をどう作っていくか」。この問題を考えるには、障がい者の暮らしの場の歴史をたどる必要があります。

1960年代まで、公的支援のない障がい者は自宅にもって生活するしかありませんでした。60年代になると、障がい者を安心して預けられる施設の設置を求めた家族の訴えに応じ、全国的に障害者施設の開設が進みました。自宅での支援が困難な障害特性を持つ障がい者とその家族双方の生活を守るためにも必要だったのです。国も入所施設の充実へと舵を切り、1970年に当時の厚

生省がまとめた構想では、たとえば知的障がい者の施設はそれまでの4倍のペースでの設置を謳いました。

1981年の国際障害年には、欧米主導で「障がい者も施設ではなく地域社会で共生すべき」との考えが提唱されました。日本でも障がい者やその家族が人権を護り差別に對抗すべく地域社会で暮らす選択を求めようになったのです。その後2000年代に入り、国も方針を大きく転換し、地域社会で暮らせるグループホーム等を整備すべきとして施設中心の施策からの脱却を図ろうとしています。

無難、障がい重い、本人や家族

の高齢化といった理由で家庭での支援が困難な方も必ずいらつしやるので、入所施設をなくすわけにはいきません。ただ、障がい者も家庭で生活できるならそれに越したことはない。その支援態勢を構築することには異論の余地はありません。

しかし、現在に至るまで、障がい者が地域社会で暮らせる場所や態勢の整備はまだまだ進んでいません。このままでは一連の方針転換がうまく機能しているとは言えず、自助努力・相互扶助の美名のもと国の予算を削減するための画策だと捉えられても致し方ないでしょう。社会全体の責務であるはずの福祉を歪めてその負担を弱者に押しつけることのないよう、また親亡き後の障がい者も安心して暮らせるよう、更に議論を深めていかねばなりません。

社会福祉法人あかりの家
障害者支援施設あかりの家
施設長 坊垣勝彦



障害者のための国際シンボルマーク

播磨町では、障がいがある人の地域での暮らしを支えるグループホームの整備を進めています。また、私たち一人ひとりが障害についての理解を深めることが、安心して暮らせるまちづくりにつながりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、親亡き後の相談については、福祉会館の成年後見相談をご利用ください。(p27参照)

▶問合せ 福祉グループ ☎079 (435) 2361



義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人、妊娠初期の人などが持つ、兵庫県が発行するヘルプマーク

あかりの家 坊垣施設長より
広報『はりま』に
発達障害について寄稿を頂きました
(画像資料集よりお読みください)

ホームページ・オンライン情報の充実

当事者がより手軽に、よりわかりやすく、必要な情報を得られる
環境整備

過去の研修会などこれまでの活動の可視化

各種関係機関など、様々な情報へとつながっていける形

つながるナビ

障害のある人・その家族向けに、幼児期から学童・生徒期、青年・壮年期、高齢期のライフステージごとの支援について案内

播磨町のホームページの詳細記載や関係機関の窓口等につながるようQRコードでも案内



障害福祉サービス
つながるナビ



播磨町地域自立支援協議会

ダウン症に関する啓発

3月21日の「世界ダウン症の日」にあわせ、
町内学校や公共施設に日本ダウン症協会の
のポスターを配布

播磨町ホームページで
ダウン症に関する記事を掲載

自立支援協議会のホームページにも
リンクを掲載

3月21日は国連が定めた「世界ダウン症の日」です。

むす **結**んで つつんで **動**き出そう。



What does inclusion mean? 啓発ダウン症協会 (DSI) 2022 年テーマ
Creative Direction by ethnos inc.

3月21日は「世界ダウン症の日」、4月2日の「世界自閉症啓発デー」と並んで、国連が定めた啓発デーです。

ダウン症は「21番目の染色体が「3」本あることから3月21日に定められました。JDSは3月を「ダウン症啓発月間」としています。

ダウン症の自立支援は「ダウン症啓発」。

啓発の報告者であるイギリスの医師、ダウン症士の名前より命名。
(アップ・ダウンのダウンは「下」ではありません)

全国各地でダウン症啓発のためのイベントや行事が行われます。

世界ダウン症の日公式サイト
<https://jds.or.jp/what-is-ds/>

公認財団法人 日本ダウン症協会
<https://www.jds.or.jp>

3月21日「世界ダウン症の日」をきっかけに
どうかダウン症への理解が深まりますように

JDS 公認財団法人
日本ダウン症協会
〒170-0005 東京都豊島区東池袋3-43-11 協賛財団に5階
Tel: 03-4607-1824 Fax: 03-4607-1825

2市2町事業所マップ(4Cities Map)の 作成・運用開始

播磨町、稲美町、加古川市、高砂市の2市2町の自立支援協議
会が協働して、圏域の統一事業所マップを作成

2022年1月末 公開開始